

## 【意見】

いつも市政への献身ありがとうございます。

御存知の様に、上記の疱疹には成人の90%以上、80才までに3人に1人がかかると言われています。また深刻な後遺症が残る場合もあるということです。私も先日、2回目の帯状疱疹になりました。幸い症状は比較的軽くすみましたが、2回目とあってワクチン接種を検討しています。

しかし、効果の高いワクチンの費用が、とても高額なことに驚きました。額を聞いて二の足を踏む人も多いと思います。沼田市は今のところ補助の予定はないということですが、びっくりしています。

他県では半額補助という市町村もいくつかあるようです。また本県でも補助が始まった市町村もあると聞きます。財政が厳しいことは承知していますが、是非開始してほしいと思います。

女性60代：市内在住

## 【回答】

帯状疱疹の予防接種については、予防接種法による定期予防接種ではなく、任意の予防接種となります。そのため、現在のところ本市ではその接種費用の助成を行っておりません。帯状疱疹は50代から発症率が高くなり、他人に帯状疱疹を感染させることはありませんが、発症した際には痛みが長期間に及ぶ場合や、重症化し目や耳等の神経を傷つけると、障がいや後遺症が残る場合もあります。

ワクチン接種は、発症また重症化の予防に対して有効であることを認識しておりますが、一方、ワクチン接種費用が高額であることも認識しておりますので、他市町村の状況などを参考にワクチン接種に対する助成を検討していきたいと考えております。

担当：健康福祉部健康課